

下水道事業（町事業）審議資料

（岐阜県事業評価監視委員会運営要領第 6 に基づく審議）

- 再評価対象箇所一覧表 p 1
- 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について
安八町公共下水道事業 p 2
- 平成 2 5 年度 再評価実施箇所（附図）
安八町公共下水道事業（安八処理区） p 3
- パワーポイント
安八町公共下水道事業（安八処理区） p 4～p 9

平成25年度 再評価対象箇所一覧表 11月1日審議箇所

[安八町]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費 (百万円)		実施済み額 (百万円)		進捗率 (%) (H25.3.31現在)		経過年数	関連事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化及び地区の意向	環境との調和への配慮事項	事業費削減	費用対効果分析	対応方針(案)	特記事項
						全体事業量	実施済事業量	事業実施率	用地補償費	工事費等	用地補償費	工事費等	用地補償費								
1	安八町 公共下水道 事業	安八処理区	安八町	H3	H35	583.4ha	482ha	82.0%	19,659	18,698	95.0%	21	特になし	平成23年度に 計画処理人口 の見直しを行 う。 議会、地域住 民の理解及び 協力が得られ	安八町総合計 画におけるま ちづくり施策の一 つとして位置づ けている。	95.0%	100.0%	94.8%	1.1	継続	汚水事業

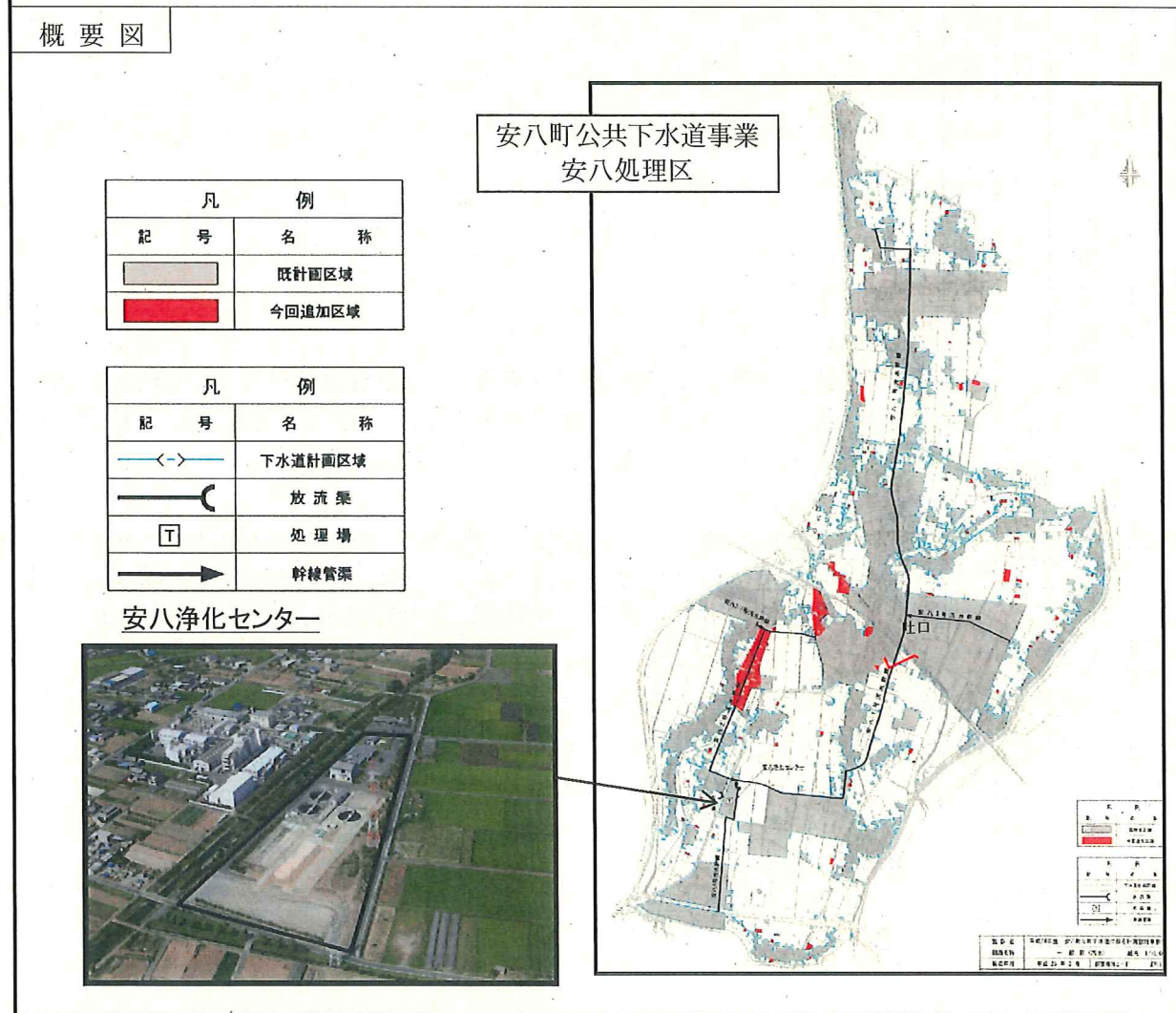
費用対効果分析()は前回再評価時の投資効果率

平成25年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

○事業制度について	事業名	安八町公共下水道事業（社会資本整備総合交付金）
	事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全
	採択基準	費用効果分析によりB/C>1.0以上
	概要 (メニュー)	管渠（污水収集）及び処理場（污水处理）の整備・維持管理
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	<ul style="list-style-type: none"> ○ うち貨幣換算する項目 ≪B≫ <ul style="list-style-type: none"> ○ 周辺環境の改善効果 中小水路の覆蓋化（整備・清掃） ○ 居住環境の改善効果 浄化槽の設置、維持管理費用（浄化槽汚泥処理施設を含む） ○ 公共用水域の水質保全効果 水質汚濁で失われる公共用水域の存在価値（住民アンケートにより、水質保全に対する支払意思額算定）
	その他項目	
○費用便益B/C*	費用 ≪C≫ の算定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管渠 整備（平成23年度までは実績値、平成24年度以降は全体計画と整合を図る）及び維持管理（平成23年度までは実績値、平成24年度以降は実績より推計）に係る費用を算定 ○ 処理場 整備（平成23年度までは実績値、平成24年度以降は全体計画と整合を図る）及び維持管理（平成23年度までは実績値、平成24年度以降は実績又は、流域別整備総合計画調査指針と解説の費用関数より推計）に係る費用を算定 <p>・評価期間：事業完了後50年間</p>
	費用便益比の基準	費用便益比（B/C）≥ 1.0

平成25年度 再評価実施箇所 (附図)

番 号	1	事 業 名 (路線・河川名等)	安八町公共下水道事業 安八処理区		
事業実施箇所	安八町	事業主体	安八町		
採択年度	平成3年度	完了予定年度	平成35年度		
再評価の実施基準	社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施が必要とあると判断した事業				
事業目的	生活環境の改善及び公共用水域の水質保全				
事業概要	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 計画面積：583ha 目標年次：平成37年度 排除方式：分流式 計画人口：15,000人 計画汚水量(日最大)：7,900m³/日 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 処理施設 名 称：安八浄化センター 処理方式：高度処理+活性汚泥法 +凝集剤添加+急速ろ過法 計画放流水質：BOD 6.5mg/L , T-N15mg/L , T-P1.5mg/L </td> </tr> </table>			計画面積：583ha 目標年次：平成37年度 排除方式：分流式 計画人口：15,000人 計画汚水量(日最大)：7,900m ³ /日	処理施設 名 称：安八浄化センター 処理方式：高度処理+活性汚泥法 +凝集剤添加+急速ろ過法 計画放流水質：BOD 6.5mg/L , T-N15mg/L , T-P1.5mg/L
計画面積：583ha 目標年次：平成37年度 排除方式：分流式 計画人口：15,000人 計画汚水量(日最大)：7,900m ³ /日	処理施設 名 称：安八浄化センター 処理方式：高度処理+活性汚泥法 +凝集剤添加+急速ろ過法 計画放流水質：BOD 6.5mg/L , T-N15mg/L , T-P1.5mg/L				



平成25年度 事業再評価 安八町公共下水道事業 安八処理区



【安八浄化センター】

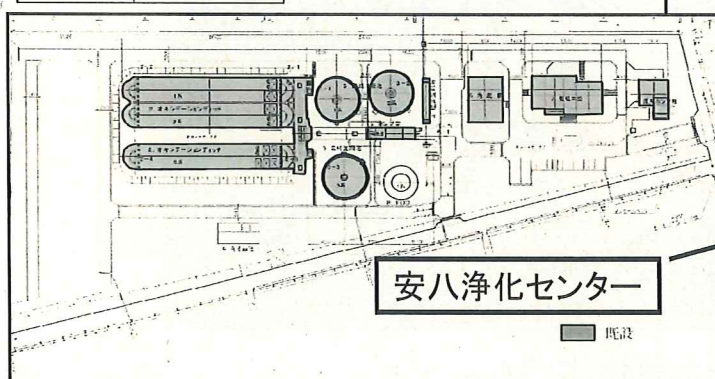
安八町公共下水道事業の政策と位置付け

- ☆本町では、総合計画、都市計画マスタープランにて生活排水は下水道にて整備する方針としている。
- ☆県策定の上位計画（揖斐川流総計画等）と整合を図り、下水道事業を進めている。

位置図

凡 例	
記 号	名 称
	既計画区域
	今回追加区域

凡 例	
記 号	名 称
	下水道計画区域
	放流渠
	処理場
	幹線管渠



安八処理区
 全体計画処理区域：583ha
 事業認可処理区域：583ha



事業概要

事業期間	平成3年度～平成35年度
整備期間	33年間(実績21年、計画12年)
全体処理区域面積	583.4 ha
全体計画処理人口	15,000 人
計画日最大汚水量	7,900 m ³ /日
管渠延長	約165 km
処理方式	高度処理OD法+凝集剤添加+急速ろ過法
処理能力	7,900 m ³ /日(日最大)

事業目的

安八町では、全町を対象とした安八処理区において、「公共用水域の水質保全」、
「生活環境の向上」を目的とし、平成3年度より公共下水道事業を実施しています。

尚、当該処理区においては、平成35年度の完成に向け、面整備、処理場増設、水洗化普及に鋭意努力し続けています。

費用対効果分析

■事業の効果



周辺環境の改善効果

効果全体の54%

住居環境の改善効果

効果全体の38%

公共用水域の水質保全効果

効果全体の 8%

■投資的效果率

$$\text{効果額} / \text{事業費} = 1.1$$

事業を巡る社会情勢等の変化

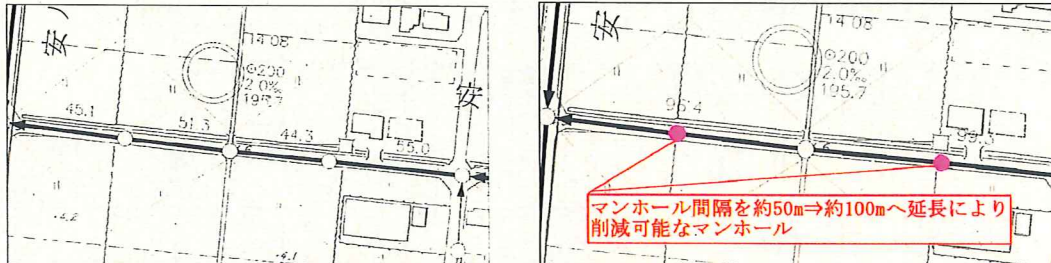
項目	評価
事業費の推移	計画に対して順調に執行されている。
施設の供用状況	平成9年4月供用開始。供用開始後16年経過。
予定処理区域内の面整備状況	整備率 約83% (平成24年度末)
供用開始区域の接続状況	水洗化率 約77% (平成24年度末)
地元情勢の変化の有無	議会、地域住民の理解及び協力が得られている。
社会情勢の変化の有無	少子高齢化の社会情勢を考慮し、平成23年度に人口を見直した。
自然環境条件の変化の有無	特に大きな変化はなし。
全体計画の変更の有無	平成23年度に全体計画を見直し、計画処理人口及び計画汚水量が減少させた。

事業の進捗状況 (平成24年度末)

整備状況	面積	全体計画区域	583.4ha
		整備済区域	482 ha
		整備率	83 %
	事業費	全体事業費	19,659百万円
		実施済事業費	18,698百万円
		進捗率	95 %

コスト縮減の取り組み

- 管渠施設整備において、マンホール間距離を伸ばし、マンホール数の削減を行い工事費を縮減しました。
(100m当り マンホール1箇所 300,000円の縮減)



マンホール削減イメージ図(間隔を約50m⇒約100m)

- 管渠施設整備において、塩ビマンホールを採用し工事費を縮減しました。(1箇所当り 180,000円の縮減)
- 管渠施設整備において、発生残土を再利用し工事費を縮減しました。(1^m当り 3,000円の縮減)

環境への配慮

① 水処理の高度処理化

表 処理水の放流水質 (計画・実績)

項目	BOD(生物化学的酸素要求量) (単位:mg/L)
流域別下水道整備総合計画	15
安八町公共下水道全体計画	6.5
安八浄化センター 現況(平成24年度平均)	6.0

- 処理水は、伊勢湾の環境基準に基づく「木曾川及び長良川流域別下水道整備総合計画」及び下水道事業全体計画で定めた水質基準の規制値を達成するものとしています。
- ② 汚泥の再資源化
 - 浄化センターより発生した汚泥は脱水し、セメント材料に用いることにより、再資源化を図っている。

今後の対応方針(案)

確認事項

- ① 投資的効果率が1.0を上回っている
- ② 地域住民の理解と要望が高い
- ③ 面整備、水洗化及び浄化センターの整備は順調に進んでいます。



今後は、平成35年の事業完了に向け、事業を継続したいと考えています。